

Ⅲ 「研修講座」の概要

1 研修講座の計画

	講座名・期日・会場	ねらい ・ 講師等	内 容
1	<p>・ 6月20日（木）</p> <p>外国語教育G公開授業 ・研修講座①</p> <p>海陽小学校 5年1組</p> <p>Hi, Friends! 1Lesson7 What's this? <身の回りの物></p>	<p>■ALT・ETとのTT, Small Talk, Sounds and Letters, デジタル教材の効果的な活用</p> <p>《授業者》 海陽小学校 佐藤はるひ 教諭（所員）</p> <p>《講師》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなと小学校 相馬 和俊 教諭（所員） ・みなと小学校 藤井 涼介 教諭（所員） ・海陽小学校 佐藤はるひ 教諭（所員） ・室蘭西中学校 安達 匡謹 教諭（所員） ・桜蘭中学校 北原 英法 教諭（所員） ・教育委員会 澤田 光男（研究推進員） <p>《室蘭市教育研究所研究員》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 ALT Shane Polard ・教育委員会 ALT Mark Hochstetler ・教育委員会英語講師 Jane Takizawa ・教育委員会英語講師 ブロドウスキー 亜希子 	<p>◇授業解説と簡単な質疑</p> <p>◇ワークショップ</p> <p>○スモール・トーク ～すぐ使えるテクニク</p> <p>○Sounds and Letters ～ワークシートを使った基本形の指導過程</p>
2	<p>・ 7月12日（金）</p> <p>外国語教育G公開授業 ・研修講座②</p> <p>みなと小学校 6年1組</p> <p>We Can! ② Unit3 He is famous. She is great. <人物紹介></p>	<p>■ALT・ETとのTT, Small Talk, Sounds and Letters, デジタル教材の効果的な活用</p> <p>《授業者》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなと小学校 相馬 和俊 教諭（所員） <p>《講師》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐藤はるひ（所員）・藤井 涼介（所員） ・安達 匡謹（所員）・北原 英法（所員） ・澤田 光男（研究推進員） ・教育委員会 ALT Achy Guillaume ・教育委員会英語講師 Jane Takizawa 	<p>◇授業解説と簡単な質疑</p> <p>◇ワークショップ</p> <p>○スモール・トーク ～すぐ使えるテクニク</p> <p>○Sounds and Letters ～ワークシートを使った基本形の指導過程</p>
3	<p>・ 7月29日（月）</p> <p>特別支援教育研修講座 『通常学級における合理的配慮・ユニバーサルデザインの実践』</p> <p>蘭北小学校</p>	<p>■主に通常学級を担任する教員を対象として、通常学級に在籍する特別な支援を要する児童・生徒への合理的配慮や、教室環境・授業づくりの上でのユニバーサルデザインについて、具体的事例を基に理解を深める。</p> <p>《講師》 北海道教育庁胆振教育局義務教育指導班 指導主事（スーパーバイザー） 但 田 寛 和 氏</p>	<p>○講 義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育 ・通常学級で必要とされる合理的配慮 ・校内における特別支援教育の充実

<p>4</p>	<p>・ 8月23日 (金)</p> <p>授業づくり研修講座 『新学習指導要領をふまえた学習指導案の作成』</p> <p>市内小学校初任段階教員対象</p> <p>蘭北小学校</p>	<p>■新学習指導要領をふまえた学習指導案の基礎を学び、単元の指導計画作成の大切さについて理解を深め、指導力の向上につなげる。</p> <p>《講師》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知利別小学校 山下はるか 教諭 (所員) ・旭ヶ丘小学校 本間 希 教諭 (所員) ・蘭北小学校 糸川 大輔 教諭 (所員) ・桜蘭中学校 松本源二郎 教諭 (所員) ・本室蘭中学校 辻 育郎 教諭 (所員) ・蘭北小学校 本田 章 教頭(副所長) 	<p>◆全体説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領をふまえた学習指導案の作成について <p>◆グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習:単元の指導計画を作成しよう <p>◆まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークによる振り返り
<p>5</p>	<p>・ 9月 9日 (月)</p> <p>外国語教育G公開授業 ・研修講座③</p> <p>旭ヶ丘小学校 6年2組</p> <p>We Can! ② Unit5 My Summer Vacation <夏休みの思い出></p>	<p>■ALT・ETとのTT, Small Talk, Sounds and Letters, デジタル教材の効果的な活用</p> <p>《授業者》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなと小学校 相馬 和俊 教諭 (所員) <p>《講師》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐藤はるひ (所員)・藤井 涼介 (所員) ・安達 匡謹 (所員)・北原 英法 (所員) ・澤田 光男 (研究推進員) ・教育委員会 ALT Mark Hochstetler ・教育委員会英語講師 Jane Takizawa 	<p>◇授業解説と簡単な質疑</p> <p>◇ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○過去形の指導 ○ALT との TT 指導 ○スモール・トークの指導 ○全面実施に向けた情報提供
<p>6</p>	<p>・ 10月 8日 (火)</p> <p>生徒指導研修講座 『児童・生徒の発達を支える指導の充実』 ～Web 会議方式による遠隔研修～</p> <p>白蘭小学校</p>	<p>■ガイダンス機能・カウンセリング機能を活かした教育活動や、児童・生徒理解の深化・充実のための方法などについて考えると共に、参加者による交流・グループワークを行い、各校における具体的な取組へとつなげる。</p> <p>《講師》</p> <p>北海道立教育研究所 研究・相談部 研究研修主事 小野 智希 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○講義 ○自己指導能力の育成 ○児童生徒理解の必要性 ○解決志向アプローチの主な流れ ○ミニ演習「スケーリング・クエスチョン」等々

7	<p>・12月 3日 (火) 道徳教育G公開授業</p> <p>「よごれた絵」 正直にあやまる心 高砂小学校 3年1組</p> <p>※11月14日(木) 臨時休校のため延期</p>	<p>■「考える道徳」「議論する道徳」科の工夫・改善</p> <p>《授業者》 高砂小学校 櫻庭 彪海 教諭 (所員)</p> <p>《講師》 水元小学校 難波 茂伸 教頭 (研究推進員) 港北中学校 渡邊 朋人 教諭 (所員) 星蘭中学校 岸本 絵 教諭 (所員) 高砂小学校 櫻庭 彪海 教諭 (所員)</p>	<p>○公開授業</p> <p>○研究協議</p> <p>・よりよい発問について</p> <p>・実践発表</p> <p>・本日の授業から</p> <p>・グループセッション</p>
8	<p>・12月 6日 (金)</p> <p>プログラミング教育研修講座</p> <p>『プログラミング教育の推進に向けて』</p> <p>白蘭小学校</p>	<p>■小学校学習指導要領完全実施に向け、「プログラミング教育」の概要説明及び実践例の紹介。</p> <p>micro:bitを用いた「プログラミングの授業体験」を通して、授業の在り方を考える。</p> <p>《講師》 白蘭小学校 田邊 和也 教諭 (所員) 翔陽中学校 保谷 達郎 教諭 (所員) 水元小学校 太田 竜也 教諭 (所員) 東明中学校 榛 美沙子 教諭 (所員) 知利別小学校 北尾 稔 教頭 (副所長)</p>	<p>○講義1</p> <p>・プログラミング教育の概要と実践例の紹介</p> <p>○実践</p> <p>・micro:bitを用いたプログラミング体験</p> <p>○講義2</p> <p>・micro:bitを用いた授業の実際</p>
9	<p>・1月17日 (金)</p> <p>外国語教育G公開授業 ・研修講座④</p> <p>桜蘭中学校 1年4組</p> <p>Program 9-1 A New Year's Visit</p> <p>2/10公開</p>	<p>■小学校・中学校の接続や連携を意識した授業づくり及び研修講座</p> <p>《授業者》 ・桜蘭中学校 北原 英法 教諭 (所員) ・教育委員会 ALT Shane Polard</p> <p>《講師》 ・桜蘭中学校 西村 雄一 教頭 ・みなと小学校 相馬 和俊 教諭 (所員) ・みなと小学校 藤井 涼介 教諭 (所員) ・海陽小学校 佐藤はるひ 教諭 (所員) ・室蘭西中学校 安達 匡謹 教諭 (所員) ・桜蘭中学校 北原 英法 教諭 (所員) ・教育委員会 澤田 光男 (研究推進員)</p> <p>《室蘭市教育研究所研究員》 ・教育委員会 ALT Shane Polard ・教育委員会 ALT Mark Hochstetler ・教育委員会英語講師 Jane Takizawa ・教育委員会英語講師 ブロドウスキー 亜希子</p>	<p>◇授業解説</p> <p>◇講義 「小中連携を意識した英語の授業」</p> <p>◇ワークショップ 「すぐに使える小学校外国語活動のアイデア」 ～3ヒントクイズを使いこなす～</p>

2 研修講座の実際

●室蘭市教育研究所 特別支援教育研修講座

『 通常学級における合理的配慮・ユニバーサルデザインの実践 』

ねらい

主に通常学級を担任する教員を対象として、通常学級に在籍する特別な支援を要する児童・生徒への合理的配慮や、教室環境・授業づくりの上でのユニバーサルデザインについて、具体的事例を基に理解を深める。

講師

北海道教育庁胆振教育局義務教育指導班指導主事（スーパーバイザー） 但田 寛和 氏

日時 令和元年 7月29日（月） 室蘭市立蘭北小学校（参加者 27名）

講座の概要

特別支援教育の理念や現状を共有し、「通常学級で必要とされる合理的配慮」や「校内における特別支援教育の充実」についての研修講座でした。合理的配慮の具体例を、授業改善や学級づくり、学習環境整備等の視点で紹介していただきました。また、保護者懇談時の配慮すべき内容や、校内研修を充実させるための「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」作成要点を説明していただき、今後活かせる内容でした。

参加者の感想より ～ 一部抜粋 ～

○全体への配慮を工夫することで、個々の対応に追われなくなるのが、具体的な事例を通

してよく分かりました。

○合理的配慮の具体例が、たくさん紹介されて良かったです。個別の教育支援計画，指導計画の作成について困っていたので，資料が分かりやすく助かりました。

○言葉だけではなく，視覚からよりコンパクトに細分化して伝える等，参考になりました。



●室蘭市教育研究所 授業づくり研修講座 授業づくりグループ

『 新学習指導要領をふまえた学習指導案の作成 』

ねらい

新学習指導要領をふまえた学習指導案の基礎を学び、単元の指導計画作成の大切さについて理解を深め、指導力の向上につなげる。

講師

室蘭市教育研究所研究部 授業づくりグループ所員

日時

令和元年 8月23日(金) 室蘭市立蘭北小学校(参加者 30名)

講座の概要

市内の小学校初任段階教員を対象に、新学習指導要領をふまえた学習指導案の作成「単元の指導計画を作成しよう」を内容とした研修講座でした。

新学習指導要領と学習指導案作成、単元の指導計画作成についての全体説明後、低・中・高学年ブロックに分かれ、グループワークとして単元の指導計画の作成に取り組む。

最後に、研修の成果をペアワークにより交流してまとめた。

参加者の感想より ～ 一部抜粋 ～

- パワーポイントの説明が丁寧で分かりやすかったです。他の先生とグループで考えることで、自分のクラスの子どもと照らし合わせたり、よりイメージをふくらませて考えることができました。
- 初任で授業づくりに日頃から悩むことが多かったので、とても参考になりました。質問など、とても聞きやすい雰囲気を受講しやすかったです。
- 他の先生方と相談しながら考えることができたので、考えがふくらみました。一人だはどうしよう…となっていたと思います。先に評価を考えることが勉強になりました。この先、指導案を作るとき、そのように作りたいです。
- とても良い研修でした。普段、当たり前過ぎていたことを、改めて振り返り、考えることができました。本当に自分たちのためになり、大変勉強になりました。



●室蘭市教育研究所 生徒指導研修講座 Web 会議方式による遠隔研修

『 児童・生徒の発達を支える指導の充実 』

ねらい

ガイダンス機能・カウンセリング機能を活かした教育活動や、児童・生徒理解の深化・充実のための方法などについて考えると共に、参加者による交流・グループワークを行い、各校における具体的な取組へとつなげる。

講師 北海道立教育研究所 研究・相談部研究研修主事 小野 智 希 氏

日時 令和元年 10月 8日 (火) 室蘭市立白蘭小学校 (参加者 20名)

講座の概要

ビデオ通話ソフトウェア (Skype) を活用した、初めての Web 会議方式による、北海道立教育研究所からの遠隔研修でした。生徒指導の目的や、自己指導能力育成の視点、児童生徒理解の必要性、児童生徒理解の進め方について、演習を含めながら説明がありました。特に、解決志向アプローチの効果について共通理解を図り、主な流れについてグループワークを通して深め合いました。

参加者の感想より ～ 一部抜粋 ～

- 具体的なスキルもあり、ワークショップもあり、深い学びにつながる研修会でした。道研の講師から学べる充実感たっぷりの時間でした。
- 今まで「問題志向」であることが多かったんだと気づかされました。「解決志向」をもっとスムーズにできるようにして、日々の生徒指導に生かしていきたいです。ありがとうございました。Web 会議方式でも、違和感なく参加できました。
- 生徒指導をしていく上で必要であるのは、生徒理解であるということがよく分かりました。また、リソース、解決像、アクションなど、知らなかった対応の仕方について学ぶことができました。
- 「解決志向アプローチ」は、様々な場面で活用・応用できるように感じました。今後、生かしていきたいと思います。



●室蘭市教育研究所 プログラミング教育研修講座 ICT活用グループ

『 プログラミング教育の概要と、micro:bit を用いた授業体験を通して 』

ねらい

小学校新学習指導要領への対応として、「プログラミング教育」が必修化された背景及び目的の理解を深め、micro:bit の操作体験を通して授業の構想を考える。

講師 室蘭市教育研究所研究部 ICT活用グループ所員

日時 令和元年12月 6日(金) 室蘭市立白蘭小学校(参加者 39名)

講座の概要

【講義1】

小学校プログラミング教育の背景や、取り扱う内容、プログラミング的思考への説明後、小・中学校における実践例を紹介する。

【実践】

実際に一人一台のmicro:bitを使用し、簡単なプログラム作りに挑戦する。操作体験を通して、プログラム要領や授業での活用の見通しを持てるように進めた。

【講義2】

micro:bitを用いた授業の実際を紹介すると共に、各校への貸出について説明する。

参加者の感想より ～ 一部抜粋 ～

- プログラミングの必修化について、今日の講義で背景など分かりやすい説明を聞いて、少し納得できました。実際に体験もできて良かったです。知らないことをたくさん学ぶことができました。
- 小学校だけではなく、中学校の実情も聞くことができよかったです。micro:bit は初体験で、とても楽しかったです。
- プログラミングの研修は、続けてほしいと思います。理科で実際にどう活用できるのかなどの、実践的な研修をお願いしたいです。

